

平成25年度 事業計画書

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財) 日本モーターサイクリススポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

■会員数等目標

- ・ ライセンス会員：15,500名（前年比100%）
- ・ エンジョイ会員：3,000名（前年比100%）
- ・ 競技会数：530大会（前年比99%）

※上記会員数の維持の為、特に会員数減少の顕著な種目/区分に傾注して対策する。

- ・ ロードレース：ジュニア/フレッシュマン/国内
- ・ モトクロス：PC/ジュニア/国内B
- ・ エンジョイ
- ・ 競技役員

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を14大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。（約500大会予定）

3) 主要競技会日程

- ・ 主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

(1) ロードレース

- ①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MF J 共催／文部科学省後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
7月25日～28日	世界耐久選手権	ココロ鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
8月24日～25日	国別対抗戦	アジア国別対抗ロードレース日本大会	スポーツランドSUGO
8月29日～9月1日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
9月5日～8日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	オートポリス
10月25日～27日	世界選手権	MotoGP日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

※鈴鹿で初めてアジア選手権を開催、日本大会はオートポリスと2回開催となった。

② 全日本選手権（全9戦） 全大会MFJと共催／文部科学省後援／観光庁後援

日程		会場	開催クラス				併催【アジア】		
			JSB	GP2	ST600	GP3	SS600	UB115	ワンメイク
3月31日	第1戦	ツインリンクもてぎ	○	○	○	○			
4月14日	第2戦	鈴鹿2&4	○						
6月1日	第3戦	AP 2&4	○		●				
6月30日	第4戦	筑波	○	○	○	○			
8月4日	第5戦	もてぎ2&4		○		○			
8月25日	第6戦	SUGO	○	○	○	○			●Y-R15
9月8日	第7戦	オートポリス		○		○	●	●	●H-CBR
9月29日	第8戦	岡山国際	○	○	○	○			
11月3日	第9戦	鈴鹿 MFJ-GP	●	○	○	○			

※●は2レース。

第6戦 SUGO 大会 JSB クラスは活性化策としてセミ耐久(100マイル)レースとして開催する。

(2) モトクロス

①全日本選手権は全9戦開催。

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月7日	HSR九州	第6戦 東北	7月14日	藤沢スポーツランド
第2戦 関東	4月21日	オフロードビレッジ	第7戦 近畿	9月8日	名阪スポーツランド
第3戦 中国	5月12日	グリーンパーク弘楽園	第8戦 関東	10月6日	オフロードビレッジ
第4戦 SUGO	5月26日	スポーツランド SUGO	第9戦 MFJGP	10月20日	スポーツランド SUGO
第5戦 北海道	6月16日	北海道オフロードパーク			

※ 最終戦MFJ-GPはMFJ共催／文科省後援／観光庁後援

②モトクロス全国大会（文科省後援・観光庁後援）

ジュニア・国内A/B級の全国選抜大会を近畿地区（ウズ下市）にて8月4日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ共催・文科省後援・観光庁後援

4月27日/28日 世界選手権日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ

※ノンストップルールに変更される為、事前にオブザーバー教育等行う

② 全日本選手権

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	中止	中止	第5戦 中国	9月22日	フィールド幸楽
第2戦 近畿	4月14日	名阪スポーツランド	第6戦 中部	10月13日	キョウセイドライバース
第3戦 九州	5月12日	わか森林農場	第7戦 東北	10月27日	スポーツランドSUGO
第4戦 北海道	7月14日	わっさむサーキット			

③トライアル・グランドチャンピオン大会

国内A級以下の全国大会を11月10日 茨城県・真壁トライアルランドにて開催

(4) その他の競技

①スノーモビル全日本選手権 (全5戦)

※開催は2013年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月3日	長野(斑尾)	第4戦	2月24日	青森(ナカ白神)
第2戦	2月10日	北海道(真狩)	第5戦	3月3日	北海道(美瑛)
第3戦	2月17日	北海道(士別)			

※第4戦青森大会は暴風雪で中止となった

②全日本スーパーモタード選手権 (全7戦)

本年度より全日本選手権格式

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月14日	茂原(千葉)	第5戦	8月18日	SUGO(宮城)
第2戦	5月19日	琵琶湖SP(滋賀)	第6戦	9月15日	HSR九州(熊本)
第3戦	6月23日	エビス(福島)	第7戦	10月27日	名阪(奈良)
第4戦	7月21日	TS(広島)			

③ エンデューロ全日本選手権

	日程	会場
第1戦 中国	3月31日	テージャスランチ(広島)
第2戦 東北	5月3日～4日	定義大倉牧場跡地(宮城)
第3戦 北海道	7月13～14日	夕張(北海道)
第4戦 東北	11月23～24日	SUGO(宮城)

(5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成25年12月14日(土) 場所：東京・大手町・日経ホール

(6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

(7) 競技施設の公認事業

競技に使用する施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

(8) サービス事業(競技運営用備品・用品の販売等)

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作/販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

(9) 会員登録

- ・個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB申請・郵送申請）
- ・特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

Ⅲ. 普及事業

1. 年少者／女性／

1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2013年4月～9月

年間7回（9日間）、年間参加（18歳以下）とスポット参加（年齢問わず、車両持込）とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。

2) MF Jトライアルアカデミー

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：茨城県・真壁トライアルランド[®]（予定） 期間：2013年9月～14年1月

募集定員：20名 年少者（9歳以上）女性（年齢問わず） 成人男性（年齢問わず）

3) レディースロードレース。

①女性ロードレースを年間3回・講習会3回（模擬レース含む）を開催する。

2013年度開催スケジュール・会場:筑波サーキット			
	第1回	第2回	第3回
講習会・走行会	4月12日(金)	6月21日(金)	9月6日(金)
レース開催日	4月20日(土)	6月30日(日)	9月14日(土)

②スポーツランドSUGOにて開催される下記2大会に告知等協力する。

日程：5月6日（日）・8月12日（日）

4) ミニバイク大会

ミニバイク／ポケバイとの連携を目的にイベント開催予定

5) その他オフロード系にてスクールやイベントを開催予定。

Ⅳ. 広報対策

会員、メディア・販売店・一般への情報提供を内容に応じて下記媒体を活用し効果的に発信する。

- 1) 会員ならびに一般への情報発信はホームページに集約、加えて会員へのメール配信で必要な情報をダイレクトに送信する。
- 2) 全日本モトクロスは新たに専用HPを作成し広報活動を行う。

- 3) ネットワークショップの各店舗からの情報を厚くする為ショップが情報を書き込めるシステムを導入する。
- 4) 入り口となる競技会のPRをHP/チラシ等の手段で行う。
- 5) 国内競技規則書の発行（年間1回）※JKA補助金事業
- 6) 後半戦の主要競技会の見どころを中心とするフリーペーパーを作成（7月発行）
- 7) プロモーション事業
 - ①全日本ロードレース/モトクロス全戦の放映（無料BS放送・BS12 毎週月曜夜8時）
 - ②全日本ロードレースのインターネット動画ライブ配信
 - ②専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
 - ③メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
 - ④東京モーターサイクルショー等への出展・広報
 - ⑤若手育成のユースカップ奨励賞設定
 - ⑥ファンクラブ（スーパーバイクサポーターズ）の運営

V. 安全・環境対策

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認（必要に応じて査察）
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準策定と推奨（マウスガード、エアバッグベストの推奨等）
- 4) 全日本モトクロス全戦で医療用品の持ち回り。
- 5) 環境整備委員会にて事故再発防止を主眼とする事故調査
- 6) モータースポーツライフセービング機構（LSO）に加盟。
- 7) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 8) 観客安全対策の強化。（ネット・コーステップ・立ち入り禁止表示等支援）
- 9) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 10) ドーピングコントロールの実施
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各1回検査を実施する。
※スポーツ振興基金助成事業

VI. 地方組織について

- 1) 各地域における全日本モトクロス・トライアル選手権の開催、地域スポーツ行政の実施について全国8加盟団体に業務を委託する、
- 2) 地域二輪車協会の協力を得て全日本選手権等主要イベントの集客向上を目指す。
- 3) 全日本モトクロスの持続可能な運営形態を協議する。
- 4) MFJネットワークショップ加入促進活動を行う。
- 5) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的で開催する。

VII. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) FIM 総会・FIM アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) FIM 規則の翻訳
- 4) FIM ライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、FIM 競技役員セミナーを開催、または派遣。
- 6) 代表選手派遣
 - ・アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。〈日程未定〉
 - ・国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) アジア国別対抗ロードレースの開催

開催日：2013年8月24日（土）～25日（日）

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：宮城県・スポーツランドSUGO

対象：FIM アジア所属国協会代表選手

車両： ヤマハ YZF R15 ワンメーカーレース

VIII. 補助金事業

1. （公財）JKA オートレース

国内競技規則書（平成26年版）	交付申請額	6,916,000円
	交付内定額	3,117,000円

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

平成25年度ドーピングコントロール	交付申請額	3,113,000円
	交付内定額	3,113,000円

IX. 公益法人制度改革への対応

- 1) 一般財団法人認可後に定められた届出、報告事項等の実務作業を行う。

X. その他の事業

1) 諸会議の開催

MFJ のスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会長／事務局長会議・中央スポーツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会

2) スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。
- ・スポーツ傷害基金の残務処理を行う（支払い期限終了まで）

3) 競技会管理システムの開発

- ・主催者/MFJ 間の競技会申請書類と報告書類を電子化するシステムの開発に着手する。

以上